

# 寺小屋塾

(世話人代表・井本勝夫さん)

サークル  
仲間



「和やかな『自分探し』の会」として活動する寺小屋塾

人それぞれの生き方を考え、交流を深める「寺小屋塾」が二カ月に一回、河内長野市の勝光寺で開かれてい

る。同塾には会社員、企業経営者らに交じって、OLも参加。毎回二十人ほどが集まり、意見交換や座禅などを

通じ、「自分探し」の時間を有効に活用している。

同塾は二年前の春に発足。同寺の住職を務める井本勝夫さんと吹田市の中田恵三さん(ナカタ産業社長)らが、「和気あいあいとした雰囲気の中、人間一人一人が何のために存在するか、みんな考えていけるような会」をと、仲間呼び掛けて結成した。

最後に代表の井本さんが講話。「生物には人間性と動物性があり、この二つをバランスよく保つことが大切。まず、自分を満たしたあと、人に喜びを与えるような人生を送りたい。そのためには自分自身を高め、『財金型人間』になる努力が必要です」と述べた。同寺は井本さんの母親・井本凡勝さん(故人)が創建した寺で、「多くの人に人生の勝利者になってもらいたい」という願いが込められた鐘楼は、「勝ちどきの音(ね)」と人氣を集めている。

四月下旬に開かれた第十四回の同塾には十八人が出席。座禅、滝行に続いて、昼食会で自己紹介があり、「毎回の出席が楽しみ。家族から生き生きとした雰囲気変わった、といわれうれしい」「この塾で人の縁の大切さを痛感している」とい

同塾の問い合わせは電話06(63886)3914、中田さんへ。(猪口隆記者)